



PROLOGIS®

プレスリリース

2016年10月21日

プロロジス、埼玉県東松山市にて 「プロロジスパーク東松山」の起工式を挙行



「プロロジスパーク東松山」完成イメージ

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、埼玉県東松山市の開発地において、マルチテナント型物流施設「プロロジスパーク東松山」の起工式を執り行いました。

起工式には、森田光一 東松山市長をはじめ行政関係の方々、設計・施工を担当する清水建設株式会社 代表取締役 寺田修 副社長をはじめ関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長 山田御酒らが参列し、工事の無事と事業の発展を祈願しました。

■ 開発地

「プロロジスパーク東松山」は、運営中の「プロロジスパーク川島」、「プロロジスパーク川島2」、「プロロジスパーク北本」、「プロロジスパーク吉見」に続いて、埼玉県圏央道沿線の物流拠点として開発されます。開発予定地は国道407号に面しており、関越自動車道 東松山ICから約3km、圏央道 川島ICから約8kmの地点に立地しています。関越自動車道や国道254号および国道407号を利用して、都内から上信越方面へもアクセスしやすく、圏央道を利用して関東全域への配送にも適した立地です。圏央道 桶川北本IC～白岡菖蒲ICが開通したことにより、東北自動車道へのアクセスも向上し、広域配送の拠点として活用性の高い物流適地です。また、東武東上線の東松山駅から約1.5kmと近く、周辺には住宅地が広がっているため雇用確保の面からも有利です。



■ 施設計画概要

「プロロジスパーク東松山」は、約 31,000 m²の敷地に地上 4 階建、延床面積約 71,000 m²の施設として開発されます。各階に大型車両がアクセス可能なランプウェイを設け、国内では希少な 45 フィートコンテナセミトレーラーが接車できるトラックバースを計画しています。

ワンフロアの最大賃貸面積は約 16,000 m²とし、広い庫内空間での効率的なフロアオペレーションを可能とする一方、各階 2 区画に分割可能であり、最小約 6,800 m²からの入居にも対応します。1 階は 2.5t 用フォークリフトの走行が可能な設計とし、飲料や自動車部品など重量物の保管が可能となります。最上階(4 階)の梁下有効高を 6.0m～最大 7.8mと、近年の一般的な高さである 5.5mよりも最大 2m以上高くすることで、パレットラックでの荷物の 4 段積など多様な物流オペレーションに対応します。

オフィス部分の天井には、「システム天井」を採用。照明取り付け位置の変更や内部間仕切りなどの造作工事が容易になり、レイアウト変更にかかる入居企業の労力・費用の負担削減に寄与します。また、有線放送や Wi-fi 接続を導入したカフェテリアを計画し、働きやすい環境を整備することで入居カスタマーの人材確保をサポートします。

災害時の入居カスタマーの事業継続性にも配慮し、プロロジスのマルチテナント型施設の標準仕様である非常用電源の確保、断水対策を予定しています。さらに、照明は、全館 LED 照明とし、高断熱外装材の採用を予定しているほか、屋根面には自家消費用の太陽光パネル約 1MW の設置を検討するなど環境にも配慮した施設計画としています。

■ 圏央道沿線のプロロジスパーク

プロロジスは圏央道沿線において、「プロロジスパーク川島」「プロロジスパーク川島 2」「プロロジスパーク北本」「プロロジスパーク常総」を運営中であり、いずれも満床稼働中です。加えて今年 1 月には「プロロジスパーク吉見」が竣工し、一部フロアで引き続き入居企業を募集中です。また、BTS 型施設の「プロロジスパーク古河 1」「プロロジスパーク古河 2」を開発中であり、「プロロジスパーク古河 3」を計画しています。

プロロジスは、今後もお客様のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

「プロロジスパーク東松山」計画概要

名 称	プロロジスパーク東松山
所 在 地	埼玉県東松山市
敷地面積	31,170.84 m ² (9,429.17 坪)
延床面積	71,347.73 m ² (21,582.68 坪)
構 造	地上 4 階建
着 工	2016 年 10 月
竣工予定	2018 年 2 月

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当: 古川
TEL: 03-6860-9107 / FAX: 03-6860-9020 / E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp